

科目	単位	時間	履修学年	講師名
実習前研修 (母性・小児・在宅)	教科外	24 時間	3	井上理恵子(8 時間) 稲生加奈子(8 時間) 北畠昭弥(8 時間)
ねらい	各領域において知識の整理をする。 特徴的な技術を身につけ、看護実践能力の向上をめざす。 実習に臨む姿勢を整える。			
回数	授業内容			授業方法
1 回目	【小児看護学実習】 稲生加奈子 ・小児看護学実習に向けてオリエンテーション ・疾患学習会：学生同士で、担当している患児の疾患を共有学習し、知識の強化を図る ・基本技術の練習：発達段階・疾患（小児によくみられる）をもとにして場面設定し、バイタルサイン測定やフィジカルアセスメント、保清等の援助手順を考え、実践する ・さらなる技術向上のために：小児看護によくみられる看護技術や医療機器・物品の取り扱いなどについて演習を行い、技術到達度の向上を目指す（吸入器や輸液ポンプの取り扱い、輸液管理、酸素（流量計・ボンベ）、包帯を使った静脈ルートの固定方法など） ・病棟オリエンテーション			学習会
2 回目				演習 動画学習
3 回目				演習
4 回目				
1 回目	【母性看護学実習】 井上理恵子 ・母性看護学実習に向けてオリエンテーション ・外来実習オリエンテーション、妊娠期の看護 「妊婦健康診査と保健指導」妊娠初期・妊娠中期・妊娠末期の看護 ・分娩期の看護 妊娠第Ⅰ期・分娩第Ⅱ期・分娩第Ⅲ期・分娩第Ⅳ期の経過と看護入院時・分娩進行の観察とサポートケア 分娩 1～4 期の看護実践 ・新生児の看護 出生時の看護・胎外生活適応への看護・全身状態の観察 沐浴・ドライテクニック 「新生児の子宮外生活への適応の看護」 ・産褥期の看護 「全身の回復と子宮復古を促す看護」、「母乳育児の確立に向けた看護」 地域との連携、地位金星支援の現状を理解する			講義
2 回目				
3 回目				学習会
4 回目				演習 発表会
1 回目	【地域・在宅看護論実習】 北畠昭弥 ・地域・在宅看護論実習に向けてオリエンテーション ・DVD 視聴。利用者の生活環境、利用者と訪問看護師とのコミュニケーション、日常生活援助技術、多職種との連携など訪問場面の実際を視聴する。 ・アネロイド血圧計を使用したバイタルサイン測定やフィジカルアセスメント、在宅の物品を使用した日常生活援助を実践する。 ・各訪問看護ステーションのオリエンテーション			講義
2 回目				動画学習 個人ワーク
3・4 回目				演習 個人ワーク
教科書	小児：小児看護演習で使用した教科書（医学書院）、及び講義資料 母性：母性看護演習で使用した教科書（医学書院）、及び講義資料 在宅：在宅看護論のテキスト（医学書院、メディカ出版）及び講義資料			
評価方法	※研修での学びは実習評価と関連する。学習した内容は実習に持参し、活用すること。具体的なプログラムは、各領域から配布される資料を参照すること。			